

件 名：高経年化した原子炉に対する安全性を確認するための制度について

日 時：令和4年10月19日（水）16:30～17:30

場 所：4階幹部会議室

出席者：

- 原子力規制委員会  
山中委員長、田中委員、杉山委員、石渡委員
- 原子力規制庁  
片山長官、金子次長、市村技監、大島部長、小野審議官、大村研究官  
総務課 黒川課長  
法令審査室 湯本室長  
原子力規制企画課 中崎課長補佐、照井課長補佐  
実用炉審査部門 渡邊安全規制管理官、塚部上席安全審査官

要 旨：

令和4年度第42回原子力規制委員会（令和4年10月5日開催）における議論の結果を踏まえ、高経年化した原子炉に対する安全性を確認するための制度について検討するに当たり、改めて、現行の運転延長認可制度と高経年化対策制度それぞれの仕組み、要求事項、規制運用の事例についての確認を行った。

配付資料：

- 資料1 新規制基準適合性審査及び運転延長認可申請審査の状況等一覧表
- 資料2 原子炉等規制法令の関係条文（運転期間延長認可制度及び高経年化技術評価制度）
- 資料3-1 高経年化技術評価制度及び運転期間延長認可制度の概要
- 資料3-2 運転期間延長認可事例（関西電力美浜発電所3号炉の例）
  - 参考1-1 実用発電用原子炉の運転の期間の延長の審査基準
  - 参考1-2 実用発電用原子炉の運転期間延長認可申請に係る運用ガイド
  - 参考2-1 実用発電用原子炉施設における高経年化対策審査ガイド
  - 参考2-2 実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイド